

響き

No.133

2007.3.20

発行 荘原公民館

斐川町荘原町712-3

(電・FAX) 72-4600

親子でカローリング楽しいな!!



2/12(休)

三世代交流カローリング大会を開催

荘原地区民の世代間の交流と心身の健康の育成を目的として、毎年行われている「三世代交流カローリング大会&軽スポーツ講習会」が行われました。(詳細は次頁)



ニュースポーツ「バグー」で楽しむ参加者

今回は、ニュースポーツの「バグー」の講習も行われ指導員のもと戸惑いながらも楽しい講習会になりました。

ニュースポーツ
「バグー」にも挑戦

目次

三世代交流カローリング大会
& 軽スポーツ講習会を開催・・・(1)(2)

人権同和教育研修会開催、他・・・(3)

ワールドワイドレポートPart3、他・・・(4)

三世代で楽しく交流

第6回 カローリング大会 & 軽スポーツ講習会を開催

212 (休)

二月十二日(休) 町立体育館で第六回の「三世代交流カローリング大会 & 軽スポーツ講習会」が行われました。交流会のメインであるカローリング大会には小学生の部、一般の部、合わせ四十八チーム約二百名の参加があり熱戦が繰り広げられました。大会の目的でもある世代間交流という点でも当日は幼稚園児から七十歳台まで幅広い参加があり有意義な催物になりました。なお、今大会の主催は青少年健全育成協議会と健康づくりの会。共催は荘原小学校PTA、社会福祉協議会、公民館。後援はカローリング教室でした。



大会中、終始子供たちの歓声が響いていました。

カローリング大会に参加して

二瀬 武士
原 くるみ

二瀬 ゆり子

カローリング大会に、ぼくと、くるみとおばあさんと三人で「二瀬ファミリー」チームで参加しました。Aゾーンだったのですぐに始まりました。最初に対戦したチームには二対三で勝ち、すごくうれしかったです。ぼくもくるみもおばあさんも集中してがんばりました。一試合目は八点でした。前の試合の点と合わせて二十八点獲得し優勝しました。

表彰を受ける「二瀬ファミリーチーム」ほか上位チームのみなさん



競技中からすごい集中力の二人の孫達、一投一投にガッツポーズで喜びを表していました。今まで出場した大会では見たこともなかったプレーをする二人に助けられて優勝できた今回のカローリング大会、とてもうれしい一日でした。三人でささやかな優勝祝賀会をし、次回もガンバルゾとカンパイをしました。

カローリング大会の主な結果は次の通りです。

《一般の部》

優勝：学校へ行こう！チーム

準優勝：クロバーチーム

三位：さわやかチーム

《小学生の部》

優勝：二瀬ファミリーチーム

準優勝：チーム チットカトリオ

三位：ダークドラゴンチーム

《ふれあい賞》

あやチーム

福田ファミリーチーム

美味しいぜんざいで一息

今回は、更生保護婦人部と民生委員の皆さんによる手作りの「ぜんざい」のサービスもあり美味しい一時も過ごせました。

更生保護婦人部と民生委員のみなさん手作りのぜんざいで一息



人権同和教育研修会を開催

～輝け、こころ、いのち、人権～

1 26

一月二十六日(金)
公民館と地区人権同和教育推進協議会の主催で「人権同和教育研修会」が、おいでませ館で行われました。今回は「輝け、こころ、人権」をテーマに町教育委員会の星野健一さんを講師に行われました。星野さんから様々な差別についての歴史的な経過から現在の国の同和対策審議会の答申について等、幅広い話を聞きました。

人権・同和教育推進協議会 (同推協)について

庄原地区人権・同和教育推進協議会 会長

渡部 和男

人権・同和教育問題については、国・県を始め、町に於いても以前からこれの推進が進められており、一方各地区公民館にもそれぞれ同推協が設置され各団体、グループ等に対し研修会など積極的に実施されています。

人権・同和教育問題については一般的な知識として理解はされているがこれの実践となるとまだまだ浸透されていないのが現状ではない



研修会に参加し、真剣に話を聞くみなさん

でしょうか。偏見や差別など根強いものがあり早期に解決する事は、簡単な様でなかなかむずかしいものがあります。お互いに話す言葉の中にも例えば就職、結婚問題など様々な事で人を傷つけたり不快な印象を与えていないでしょうか。又、男女平等とか六曜といった事柄についても理解はしても実行となると何か壁がある様な気がいたします。色々な事が日常生活の中に根付いていてもこれを打ち消す事は難しい問題です。正しい認識と理解を求めるため各団体、自治会、グループなどで研修を重ねていただき住みよい地域づくりにご協力をお願いします。

「食の安全について」の勉強会開催

2 17

二月十七日、おいでませ館において「食品についてのお話&どうきんづくり」が行われました。

私達が何気なく行っている毎日の食生活について改めて考えようという企画しました。今回は食の安全について中国農政局、島根農政事務所から石飛敏朗さんらを招き、お話を聞きました。主な内容としては「食の安全の本来の意味」、「食品安全に関する勘違い」、「農林水産省の取り組みについて」



熱心にお話をされた石飛さん(右)

様々な食品についての話を聞くやまもの会の参加者



2/3 手作り「布ぞうり」に挑戦



その後、タオルでぞうきん作りも行いました。約三十枚のぞうきんが出来上がり、これを後日、特別養護老人ホーム「サンホーム」へ寄贈しました。

インフォメーション

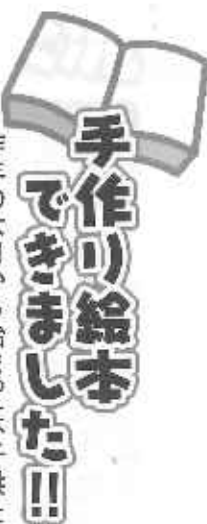
新年度から

「新しい教室」始めます。

新年度から新たに「卓球教室」と「手芸教室（編み物、小物づくり）」「書道教室」を公民館の文化教室として始めます。五名以上の参加があれば、教室を開きます。参加してみたい方は、お誘い合わせの上、公民館までご連絡ください。



絵本作りの作業風景



昨年の六月から始まった、子供たちの「絵本づくり教室」、毎月第一第三土曜日に行われてきました。そしてみんなのそれぞれの思いを込めた作品が出来上がりました。

ワールドワイド・レポート Part3

〈編集後記スペシャル〉

～館報編集長 厚詞不思議「香港」へ行く～

香港といえば、フカヒレ、アワビなどの高級グルメやブランドショッピング、また一昨年にはディズニーランドもオープンし、アジアを代表する観光地というイメージがありますね。勿論それも香港です。でも今回は私が見たちょっと不思議な素顔の香港を紹介しましょう。

スターフェリーの下の階は古い分、床もイスも木製。インスタレーションの船内です。（写真は片道1.7ドル/26円）



週末のスターフェリー下層にて

内海であるビクトリア湾を挟んで繁華街区域の九龍側と金鐘街のある香港島の最も最近な交通機関がスターフェリーです。週末の朝この2階建てのフェリーの運賃の安い下層に乗り込むとち

っと不思議な光景を見ることが出来ます。約百席のイスはほぼ満席。ほとんどが女性。しかも会話は全てタガログ語。彼女たちはフィリピンから出稼ぎに来ていると。職業も家政婦、ベビーシッターや食堂の店員等々。やがて対岸の船着場に着くと、近くの公園や

遊歩道に集まり4～10人位のグループになり1日中おしゃべりをしたり歌ったりして過ごすそうです。その数、数千人。そして日暮れと共にまたそれぞれの職場に帰って行きます。繁華する香港のもう一つの原動力を見た気がしました。



日暮り、間隙で巡航しているスターフェリー。背景は香港島。

坪洲島の街から歩いて約40分、山頂の屋敷台からの眺め。



ん、コーヒー？それとも…

香港には不思議な飲み物があります。それはごく普通に「餐廳」という喫茶兼食堂のような街中のあちこちにある店で飲むことができます。それは無糖（インコン）といい、見た目はミルク入りコーヒー。一口飲むとやはりコーヒーのようですが何か濃みもあります。実はこれコーヒーと紅茶を混ぜたもの。以前香港のガイドさんに聞いたところ答えは簡単「美味しい飲み物同士なら混ぜても美味しいから」。英語、広東語など様々な言語が飛び交い、西洋・東洋の文化が入り混じっている都市らしい飲み物でした。



香港島の繁華で飲む紅茶とミルク。ちなみに右は、これも香港名物「エッグタルト」

香港、実はハイキングのメッカ

香港は地図で見るとよく分かるように、大小多くの島々、入り組んだ海岸線、更には標高400m以下の山々が点在しており、ハイキングにはもってこいの地理条件が備わっています。遊歩指南の本も多く出版されており、私が買った本には様々な難度や距離のハイキングコースが百通り紹介されていました。週末になると街のあちこちでリュックサック姿の人達を目にします。私も香港島からフェリーに乗り坪洲島へ出かけて見ました。



九龍のバスターミナル。道路の両側には古い建物が今でも多い。かつてはこんな風景も消えていたかも。

変わりゆく香港

香港は1997年7月、英国から中国へ返還されました。その後10年間、何度となく訪れる度に近代的なビルが増え、その隣で古い街並みが少しずつ消えています。その最初の印象的な出来事が空港の移転でした。下の写真は1995年5月に撮影したものです。当時の空港（カイトック空港）に隣接する旧市街地、九龍城の建物ずれずれを降りてくるジャンボ機です。しかし、このわずか2ヵ月後、ランタオ島へ空港が移転。今ではもう見ることも出来ない風景となりました。勢いを信ずる中国の発展獲得の一翼を担っている香港はこれからも進化して行くでしょう。何かを失いながら…。

レポート(3)

当時、10～15分おきに爆音とともに大型旅客機が突如建物の間から現れ轟然と降る様子は圧巻でした。

